

科目名	現代メディア社会論Ⅱ	担当者	米倉 律	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	------------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

【授業概要】

授業目的	本講義の目的は、現代社会の多様な諸相とメディアの関わりについて、「情報行動」「グローバル化」「世論」「社会関係資本」などをキーワードにしながら把握・分析していくことである。各テーマについて、できるだけ具体的な論点やケースを参照しながら検討・考察を進めていく。		
到達目標	現代社会とメディアのあいだの、複雑で構造的な関係性について認識し、理解すること。		
履修条件	メディア、コミュニケーション、ジャーナリズムと現代社会、時事問題について強い関心を持っていること。		
授業方法	映像や統計資料を適宜使用する。		
準備学習	テレビニュース・情報番組、ドキュメンタリー番組、新聞記事などを通して授業で取り扱う諸テーマへの関心を深めておくことが望ましい。		
成績評価	種別	割合	評価基準
	定期試験	0%	
	平常評価	100%	授業期間中に数回のレポートを課す
教科書	特に指定しない		
参考書	佐藤卓己『メディア社会』（岩波新書）、橋本良明『メディアと日本人』（岩波新書）ほか、適宜、紹介・指示する。		
オフィスアワー	毎週月曜日の12～14時。研究室は本館7階（1719） できれば事前にメール等でアポイントを入れてほしい。 メールアドレスは、yonekura.ritsu@law.nihon-u.ac.jp		

【授業区分】

区分	授業内容
1	イントロダクション
2	現代社会とメディアの関係
3	現代人の情報行動①：メディアの大衆化
4	現代人の情報行動②：メディア利用の個人化・細分化
5	現代人の情報行動③：ネット時代の情報行動
6	社会統合／分断とメディア①：社会関係資本とメディア
7	社会統合／分断とメディア②：R. パットナムのテレビ論
8	社会統合／分断とメディア③：M. ブルックスの「共有体験」論
9	政治・世論とメディア①：「テレビ政治」の戦後史
10	政治・世論とメディア②：政治の劇場化、ポピュリズム
11	政治・世論とメディア③：世論調査と世論のジレンマ
12	グローバル化とメディア①：社会のグローバル化、メディアのグローバル化
13	グローバル化とメディア②：多文化社会とエスニック・メディア
14	グローバル化とメディア③：グローバル時代におけるジャーナリズムの役割・機能
15	まとめ・総括